

# 中央区 花咲く通信

2022  
November  
vol.07

今回の  
ご案内

1 Katsudo-Report :  
内田文具店さんの活動紹介

2 Flower INFO :  
冬花壇のお花のご紹介

3 Chuo-ku INFO :  
ダンゴムシ被害が増加しております

Public-Citizens  
partnership



日々のボランティア活動のご協力、ありがとうございます！

今回は、ご家族でボランティア活動を続けて下さっている、内田文具店さんの活動取材させていただき、訪問レポートを掲載いたしました。

ウィズコロナの新しい生活様式で少しずつ私たちの日常も落ち着きを取り戻しつつありますが、コロナの脅威は継続しております。インフルエンザも流行しやすい時期を迎える為、引き続き手洗いうがいといった感染対策を心がけましょう。

Katsudo-report

## ■ 店前のグリーンオアシス 内田文具店さん

街と一体となって、愛情を込めて。

長くこの新川二丁目の地で営業を続けておられる地元密着型の内田文具店さん。最初は明正小学校の生徒さんが植替えをしていたこちらの花壇。内田さんご夫妻が引き継いで、ボランティア活動をされています。お店の前に花が咲いていることで心が和むそうで、愛情を込めて毎日管理をされているそうです。

取材でお話を伺っていく中で、隣の明正小学校、店前の花咲く花壇を含む緑地帯、文具店、内田さんご家族、全てが街の一部としてしっかりと馴染んでいる印象を受け、地域としての一体感と温もりが感じられる取材となりました。

## ■ ゆるやかな季節の移り変わりを感じられる緑地帯

店前の緑地帯にはオカメザクラ、アメリカハナナシ、ナナミノキ、シャクナゲ、ミツマタ、ドウダンツツジ等、季節ごとに花咲く花木が数多く植えられ、年4回草花を植え替える花咲く街角花壇も含め、季節の移り変わり感じられる街のグリーンオアシスとなっています。



地域への愛着オーラをまとったお二人♪  
息子さんが遠くから見守る姿が印象的でした



開花が少し早い  
オカメザクラを  
見に来る人もいます



明正小から頂いた  
ケヤキの株分け苗も  
育てています！

### 冬花壇のお花の紹介：「パンジー」「ミニハボタン」



#### パンジー

スミレ科 スミレ属

*Viola x wittrockiana*

別名：-

- ・豊富な花色や育てやすさ、花付きの良さから、冬から春にかけての花壇をカラフルに演出してくれる、定番の花
- ・パンジーとビオラはスミレ科スミレ属の同一種ですが、園芸上、花の大きさでパンジーとビオラを区別している  
 <花の直径の目安> ビオラ : 2~4cm程度  
 パンジー : 4~10cm以上

- 花** 11月~5月
- 光** 日当たり/風通しの良い場所
- 土** 水はけ良く/硬い土の場合：腐葉土等の有機質を混入
- 水** 土が乾いたらあげる/暖かくなってきたら多めに



#### ミニハボタン

アブラナ科 アブラナ属

*Brassica oleracea var. acephala* 別名：ハナキャベツ

- ・色づいた葉が牡丹の花のように見えることが名の由来(江戸時代の冬の季節、今ほど鮮やかな花が少なく、華やかな牡丹の代わりに庶民が好んでお正月に飾っていた)/最近はお正月の花という認識を超え、冬のお庭の定番になりつつある
- ・ミニハボタンはハボタンの径が小さいもの
- 【春先の花】春先に花茎が上がってくると草姿が乱れてくる花茎を摘み形を整えるか、花を楽しむかは好みで!

- 光** 日当たり良い環境
- 土** 通気性、保水性のある土を好む
- 水** 植付け時にはたっぷり水を与えましょう

### ダンゴムシ被害が増加しております

今年、ダンゴムシによる花・葉の食害のご連絡を複数件頂戴しております。ダンゴムシは枯れ葉等を食べることで土中の有機物を分解しやすくし土壌を豊かにしてくれると言われる一方で、大量発生すると花や葉、根などの食害で花がボロボロになってしまう被害が報告されています。

今回、取材させて頂いた内田文具店さんの花壇で設置しているダンゴムシトラップを紹介させていただきます。

- 活動時期** 2月~11月頃
- 繁殖期** 4~9月頃。一度に数10~数100の幼虫を生む。犬猫等が食べてしまわないよう、口径の小さい空き缶など、上部を切り開いて地中に埋める。
- トラップ** そこにダンゴムシを誘引する殺虫剤を入れる。

※誘引トラップによる殺虫の他、ダンゴムシはコーヒーの香りや酢の臭いを嫌うため、忌避剤として濃いめのコーヒーや木酢液をスプレーするなどの撃退方法もあります。

